

物価高騰対策事業は事後調査などで検証

6月8日は市議会厚生常任委員会審査でした。

健康福祉部にかかわる議案審査で注目したのは、「介護保険施設・障害者施設等物価高騰対策支援事業」について議論です。

日本共産党議員団の平良木議員は、「物価高騰の影響額のほぼ5割を支援するというが、この根拠は何か。残りの5割をどうするのか」「支援金設定にあたっては、1施設当たりいくら、定員1人当たりいくらという工夫があっても良かったのではないか」「経営難からデイサービスなどを閉鎖せざるを得ないところもあるのではと心配している。実態を把握してほしい」「綿密な調査による結論だと思うが、支援の事後調査もやってほしい」などと質問しました。

これに対して担当部課長は、「他の自治体の制度を参考にしながら決めた。残りはそれぞれの経営努力で対応いただきたい」「サービス種別をして精度を高めるように調査した」「改めて検証していく。閉鎖が物価高の影響によるものかを含め把握に努めていきたい」

「人材不足からの再編、集約の動きは聞いている。今年は（介護などの）次期計画を立てる年であり、全法人に対してアンケート調査を行い、介護の状況、人材不足の状況などを把握していく」などと答えていました。

こういった施設はいま、物価高騰だけ



でなく、人材不足などから厳しい経営を強いられていますので、支援金の事後調査や次期計画に向けた全事業所アンケートに取り組むとの答弁は重要です。今後の動きを注視していきたいと思えます。

子育て日本一をめざすならスピード感持って

こども・子育て部に関わる審査でも、物価高騰の影響を受けている子育て世帯への市独自の支援について議論がありました。

今回の支援対象は平成17年4月2日から令和6年3月31日までに生まれた児童で、所得制限なしで児童一人当たり1万円が支給されます。

委員からは、「子育て日本一を目指しているなら、他所よりも早くやることが重要だ」などの指摘がありました。八木副市長は「スピード感をもってやっていく」と述べていました。



【クロモジ】クスノキ科の落葉低木。漢字で「黒文字」と書きます。高級な楊枝（ようじ）の材料です。葉も樹皮も木部もいい香りがします。私はこの木に出会うと、枝の先っぽを折って、香りを楽しんでいます。花期は3月から4月。花は淡い黄緑色です。花言葉は「誠実で控えめ」。写真は、5月23日、吉川区尾神岳にて撮影。

市内各地で消防団の演習が行われています。11日は吉川方面隊の演習でした。演習は新型コロナウイルスの関係もあり、3年ぶり。この日は朝から雨で、機械器具の点検はなく、「人員、姿勢、服装の点検」と屋外での小型ポンプ操法のみとなりました。小型ポンプ操法は25日の市長点検時の競技に参加する源東田中分団チームが日ごろの練習の成果を披露しました。きびきびした動きでした。チームの家族も応援に駆け付け、「お父さんがんばって」と声援、それにこたえ、「おとうさん」は大きな声で頑張っていました。

市内各地で消防団方面隊演習



はしづめ法一の活動レポート

No.2114 2023.6.18

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七六一回 いっときの夕日

雲が多くて、夕日は見られないな……そう思って妻とともに夕食を食べていた時でした。そこへ遊ランドのスタッフのS子さんが、ひと声かけてくれたのです。「いま、夕日、見られますよ」って。

時刻は午後七時くらいだったと思います。S子さんのそのひと声で食堂から飛び出したのは私と千葉県四街道市から帰省していたHさんでした。

大広間に至る廊下まで行くと、確かに夕日が見えます。信じられませんでした。というのも、少し前まで、夕日が沈む日本海は雲におおわれていたのです。でもこの日の夕日は「観てもらうんだ」という「執念」を持っていました。夕日はたくさん雲の下の、それこそ海と雲の境あたりで輝いていました。

海面に近いところで輝いていましたから、そのすぐ上の雲だけじゃなく、遠くの雲もみんなオレンジ色に染まりました。廊下から見ると、パラグライダーの着陸場やその手前の田んぼなどは黒、雲のうち、夕日が当たったところはオレンジ、その陰になるところはブルーになっていました。

私とHさんは、廊下の窓を開け、それぞれのスマホを使って夕日を撮りまくりました。撮った写真はお互い見せ合い、楽しみました。私は八枚撮影しました。撮影した夕日の風景写真、今年撮影した夕日の中でも、きれいさはトップクラスでした。とても美しく撮れたのです。

夕日は廊下のなかにも入ってきました。そのことに気づいたのは廊下の壁を見た時です。壁もオレンジ色になっていたので。しかも私たち二人も壁に映し出されていました。影絵と同じで、動く、壁のなかの私もHさんも動きます。それがまたとてもよく映っていました。Hさんの頭の形、丸い肩などはそのままです。私は私で、横幅のある関取のような体になってい

ました。この壁のなかの二人も撮影し、写真を見て二人して笑いました。

夕日は尾神岳の上空にあった雲も染めていました。その色は単なるオレンジではなく、虹のようにいくつもの色になっていました。これもまた撮影しました。

この夕日の撮影をきっかけにして、Hさんとは遠い昔の話をたくさんしました。

一番びっくりしたのは、Hさんの結婚式でのごとだと思つたのですが、私の父が歌を披露したという話です。Hさんが、「お父さん、歌、うまかったね」と言われたので、「酒造り唄ですかね」と訊いたら、そうではないとのことでした。三橋美智也の歌でも歌ったのでしょうか。それにしても、Hさんの結婚式の話の中で父が登場するとは思いませんでした。

それだけではありません。Hさんは母の料理のことまでご存じでした。「お宅のお母さんの料理の味、良かったね」と言ってくださったのです。わが家にも来てくださっていたとは……。

じつはHさんは、吉川区河沢に住む私の叔母の義理の妹、M子さんと結婚されています。ですから、私も百歳近くまで生きた河沢のおばあちゃんの葬儀などで何回かHさんとは一緒になっていました。

撮った夕日の写真は食堂に戻ってから、しばらく話題の中心になりました。写真は、妻だけでなく、Hさんの実家などの人たちにも見せてもらいました。

スカイトピア遊ランドで、きれいな夕日を見たのは、気象台が「新潟を含む北陸地方が梅雨入りしたと思われる」と発表した、その日のことでした。

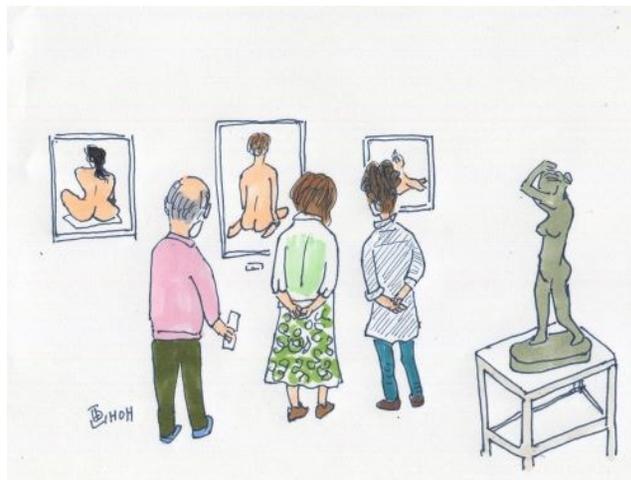
スカイトピア遊ランドからの夕日の抜群の美しさは見た人でないと分かりません。S子さんのちょっとした気配りのおかげで、この日は最高の夕日を楽しむことができました。ありがとうね。

裸婦を描いた作品展、初めて鑑賞

ミュゼ雪小町で開催された「ら展」へ10日、行ってきました。

ここでは「裸婦のデザイン」を追求する13人の作品が並んでいました。裸婦を描く人はけっこうおられるんですね。作品の中にはドキッとさせるものもありました。私には描けないと思いました。

作品を鑑賞中に、受付で聞き覚えのある声がすると思ったら、高校時代の同級生でした。久しぶりの再会でした。



1年ぶりにサンデーライブへ

1年ぶりにくびき野フォーク村の「サンデーライブ」を楽しんできました。

直江津を中心に活発に活動している川合徹人さん夫妻や三ハ市でトマト販売をしている「諏訪ANI」さんのグループが熱唱しました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月7日(水)	6月14日(水)
上越南消防署	0.047	0.050
上越北消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.040	0.050
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.053	0.053